

平成22年度センター事業より

〇〇〇 第2回小・中・高生徒指導連絡協議会 1月21日(金) 〇〇〇

各校の一年間の特色ある取り組みや成果について情報交換を行いました。協議の中で第1回の連絡協議会で話し合われた共通実践事項については、次のような成果と課題を確認しました。

①人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成

- ・ ソーシャルスキルトレーニングを取り入れるようにしているが、学年・学級により取り組みの実態と効果の実態の把握が難しい。
- ・ Q-Uの結果を生かした学級づくりについて、研修や取り組み実践が今後必要である。

②よりよい生活習慣や規範意識の定着について

- ・ 服装や髪型が「それでは、なぜだめか」「なぜ、このきまりなのか」それを教職員で共通理解しないと、子どもや家庭への指導にばらつきが出る。児童生徒の気になる言動について、全職員が共通理解し、協働実践できるよう今後も徹底を図っていきたい。
- ・ 保護者の意識の低下による子どもたちの変容についても大きな課題である。

<次年度の方向づけ>

来年度も引き続き、「人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成」について小・中・高連携した組みについてさらに研鑽を深めていくことを共通理解しました。

〇〇〇各種調査委員会等の活動より〇〇〇

各種調査委員会のみなさんには一年間、児童生徒の学習に結びつく調査研修を行っていただきました。

【郷土教育教材開発研究調査委員会】

- 現地学習会の企画、運営
- 「朝日町に関する教材の活用例」改訂版作成
- 「わたしたちの朝日町」の見直しと作成
- 「朝日町の民話」第2版発行

【新学習指導要領準備委員会】

- 指導要録の見直し・作成
- 通知表の見直し
- 年間指導計画の作成

【情報教育研究調査委員会】

- 情報教育研修会の企画運営
- 「情報モラル教育の指導計画」改訂版作成

【外国語活動推進委員会】

- 外国語活動の授業提案
- 「1～4年生外国語活動案集」作成

活用してください！

各種調査委員会等が、今年度作成した資料です。23年度からの授業に生かせるよう工夫してあります。ぜひご利用ください。保管は、年間指導計画と共に綴じておいてください。



「朝日町に関する教材の活用例」

「情報モラル教育の指導計画」

「1~4年生外国語活動案集」

〇〇〇 第2回センター運営委員会2月22日(火) 〇〇〇

平成22年度の事業報告、平成23年度の事業について協議しました。各委員からいただきました貴重なご意見を踏まえて来年度の準備を進めていきます。

- ◇ 研修事業について
 - ・ 参加型の研修が多く、具体的に学び授業に生かせるという点でよかった。
 - ・ 来年度も参加型の研修を中心に進めていく。
- ◇ 各種調査委員会について
 - ・ 調査委員会で作成した資料等がなかなか活用されにくい。町センター発行資料を個人配布でなく、学年の年間計画に綴じて保管、活用する。
- ◇ 交流学习会について
 - ・ 現地学習のねらいと交流のねらいを両方満たすには、無理がある内容もある。しかし、朝日町の児童の交流を図るという意図を大切に、現場の先生方の負担にならないよう修正を加え来年度も実施する方向でいく。
- ◇ 図書・ビデオの貸し出しについて
 - ・ DVD購入は、候補を選定し、各校回覧して意見を聞く。
- ◇ その他
 - ・ 町の就学委員会（教育委員会）については、今年度、組織やメンバーの見直しを図られ、専門家も入り就学に向けての流れがよくなった。

◆◆ 新着DVD・図書の紹介 ◆◆

< DVD >

新しい国語 音声言語活動編 6巻

- ①スピーチをしよう
- ②ディベートをしよう
- ③パネルディスカッションをしよう
- ④初めてのスピーチ
- ⑥インタビューをしよう
- ⑦ポスターセッションをしよう

小学校体育実技 5巻

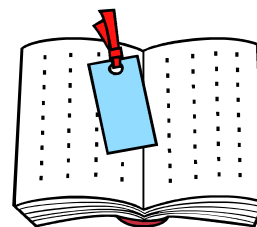
- ①器械・器具を使ったの運動遊び
- ②マット運動
- ③鉄棒運動
- ④跳び箱運動
- ⑤水泳

学校英語 授業力アップ DVD

- ①教室英語の基本エクササイズ
- ②教室英語のバリエーション

< 書籍 >

- 「子どもの対人スキルサポートガイド」 小林正幸
- 「平成22年度改訂 指導要録の解説と実務」 図書文化
- 「生徒指導提要」 文部科学省
- 「利他の教育実践哲学」 野口 芳弘
- 「教師の作法『指導』」 野口 芳弘



※ センターでは、「内外教育」「児童心理」「初等教育資料」「教職研修」「月刊生徒指導」「教育委員会月報」を定期購読しています。ぜひ、センターの本を利用して読んでみませんか・・・

< 編集後記 >

先生方のご協力とご支援のおかげで、この一年間の研修事業や調査研究事業等を無事終えることができ、ありがとうございました。振り返ると、各学校の先生方や地域及び行政の方々の朝日町の子どもに対する熱い想いに接することができ、感動することの多い一年でもありました。間もなく新年度を迎えます。町中の子ども一人一人が夢と希望に胸をふくらませ、晴れやかな気持ちで進学・進級できることを願っています。